

ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区

2022～2023年度

第1回キャビネット会議 議事録

日 時 2022年8月2日(火)
会 議 15:00～17:00
場 所 リーガロイヤルホテル京都 2F「春秋」

司会 地区キャビネット幹事 佐古田政彰

1) 開会ゴング 地区ガバナー 一盛 広樹

2) 定足数の確認、出席者紹介 地区キャビネット幹事 佐古田政彰
定足数の確認をします。キャビネット構成員66人中出席者56名、半数以上の出席がありますので、本会議が成立することを報告します。

出席者の紹介

3) 開会挨拶 地区ガバナー 一盛 広樹

皆様、こんにちは。

本日は、本来であればこのあと懇親会を行う予定でしたが、新型コロナ感染者が増えており会議のみとさせていただきます。

本日の会議を行うべきかとのご意見もいただきましたが、審議事項もございませんので、本日の会議を行わないと地区として動けません。今後もキャビネット会議については中止することは考えておりませんので、ご協力をお願い申し上げます。本日はなるべく短時間で終わらせたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、本日からペーパーレス化ということで、皆様の席上に資料を配布しておりません。皆様におかれましては、久しぶりに地区のHPにアクセスいただいたのではないかと思います。地区のHPを見ていただく良い機会になったのではないかと思います。このあと、いくつかの報告をさせていただいて、ご挨拶とさせていただきます。

本日は、新型コロナに感染された方や濃厚接触者となられた方がおられて、もともとの出席予定者よりも欠席者が増えております。特に、リジョン・チェアパーソンの皆様へお願いがあります。本日、ゾーン・チェアパーソンの中にも欠席されておられる方がいます。欠席されている方に、今から私が申し上げる報告事項を伝えてください。お伝えいただかないと、ガバナー諮問委員会において、資料に記載されたことのみしか伝わらないこととなりますので、どうぞお願いいたします。

まず、ガバナー諮問委員会について申し上げます。当初から案内しているとおり、リジョン内の全ての地区役員の皆様にご案内を出してください。そして、地区役員の皆様も案内がきましたら、自分の所属するリジョン内のガバナー諮問委員会に出席いただいて、各委員会からの報告事項や要望事項をお伝えいただければと思います。

それから、ガバナー諮問委員会については、コロナ禍ではありますが、中止にはしないでください。これまで中止とされているゾーンも有りますが、できる形で行ってください。例えば、ゾーン・チェアパーソンとクラブ会長だけでも構い

ません、そうすれば人数も限定されます。どうしても心配だという場合は、人数を絞って、会議のみを行っていただいて、各クラブとコミュニケーションを取っていただきたいと要望いたします。

また、ガバナー諮問員会は報告するだけの場ではありません。今年度の課題について、各クラブの達成度や問題点、そういったものを討議する場です。報告だけで済むことは書面で提出いただいて、各クラブの会長たちと現状についての討議を行ってください。

さらに、各クラブにお伝えしていただきたいことは、奉仕活動を行ったときは、その内容について必ず国際協会へ報告を挙げてほしいということです。奉仕活動の報告率を本年度は95%以上にしたいと私から国際協会へ報告しています。できれば100%を目指したいと思いますので、その点について、何回も同じお願いをしておりますが、しっかり各クラブにご確認願います。各クラブの三役には、三役研修会の前に国際協会のHPにアクセスしてもらい、アカウントを取ってもらっています。そのため、すぐに確認できる状態となっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それから、ゾーン・チェアパーソンの皆様には、ガバナー諮問委員会の報告書及び議事録は、終了後5日以内に地区キャビネット事務局宛てに提出してください。この報告書と議事録については、私は全て目を通しています。提出されてきたものは全て読んでいます。地区ガバナーとして、4月の年次大会において、優れたクラブの皆様にはアワードを授与させていただくこととなります。その時の資料となりますので、しっかりとご記載頂いて報告書を上げていただきたいと思っております。また、報告書につきましては、国際協会の書式ですので分かりにくいところがあるかと思っております。中でも質問が多かったのは、「機会と対策について記載してください。」という部分です。機会については、クラブの目標達成に向けてどのような良い案が出たのかといったことを記載してください。対策については、課題達成に向けて問題のあるクラブについて、対処方法をゾーンでどのように討議したかといったことを記載してください。行数が足りなければ、報告書には項目だけ記載していただき、詳細は議事録に記載して下さっても結構です。

これからガバナー諮問委員会が始まりますので、このような形でよろしくお願い申し上げます。

それから、皆様もご存じのとおり、ブライアン・シーハン国際会長の公式訪問がありました。7月19日に名古屋で公式訪問と晚餐会、20日にガバナーとの懇談会、LCIFセミナー、晚餐会がありました。その前の18日には京都に視察に来られています。その際には、私も一時一緒して京都をご案内しました。さらに各クラブと懇談されたいとの要望があり、急遽、京都南LCとピース支部、京都東LCのメンバーに集まっていただいて、国際会長と懇談していただきました。

8月7日に島津アリーナ京都で「2022 全日本ジュニアユース綱引き選手権大会」が予定されています。この大会ですが、本当に行うべきかとの意見を頂いています。私のほうから綱引き連盟に対し、開催の是非については慎重に考えてほしい、体育館の中で子どもたちを集めてスポーツ大会を行うことに、特別協賛団体として懸念を持っていることを伝えました。但し、実施するかどうかの決定権は綱引き連盟にあります。

アレキサンダーLCIF理事長、前年度の国際会長ですが、9月に公式訪問で日本に来られます。9月6日に名古屋でLCIFチャリティコンペ、9月7日は公式訪問と晚餐会、9月8日には京都に視察に来られるとのこと。皆様にもご協力をお願いするかもしれませんので、その際はよろしくお願い申し上げます。

2月にはヒル国際第一副会長が公式訪問で日本に来られます。

もしかすると永田国際理事を輩出している関係で335-C地区にて担当することになるかもしれませんが、335複合地区にて担当することになるのではないかと予想しております。

前回からの報告事項としては以上です。少し長くなりましたが、ご挨拶に変えさせていただきます。

本日もよろしくお願ひ申し上げます。

4) ご 挨拶 名誉顧問会議長・前地区ガバナー 佐々木由美子
(L佐々木由美子が欠席となったため行わず。)

5) 配布資料の確認 地区キャビネット運営委員長 塩崎 幸生
配布資料ですが、議案書については、335-C地区のHPからダウンロードしていただいていると思います。

その他に、一盛地区ガバナーからのお土産などを配布しております。

6) 議長選出
国際会則および付則第10条第2項(a)、複合地区会則第15条3.により、
地区ガバナー 一盛 広樹 を議長に指名する。

7) 議事録署名人選出 地区ガバナー 一盛 広樹
2R3Zゾーン・チェアパーソン 金田 孝子
7R2Zゾーン・チェアパーソン 今中 力松

8) 報告事項
(以下、注記なき限りは一盛地区ガバナー)

1. キャビネット予備会議議事録について 資料7～14頁
事前に配布済み。
(意見、指摘なし。)

2. 2022～2023年度 組織表修正について(7月15日現在)
資料15頁

1. 2003～2004年度地区ガバナー L大島 康男
2022年6月末京都葵LCを退会
2. 一般社団法人設立準備委員会委員 L中井 滋之
2022年6月末京都西LCを退会

3. 公式訪問日程について(7月15日現在) 資料16頁
資料の修正点をご説明します。

9月1日の4R3Zの合同例会のほう中止となっています。9月7日の2R3Zにつきましても、懇談会のみで合同例会は中止となっています。

各ゾーン・チェアパーソンにお願いがあります。公式訪問については、国際会長から地区ガバナーに課せられた一番重要な職務となっています。必ず21ゾーン全てで行わなければなりません。コロナ禍において、合同例会は中止でも致し方ありませんが、懇談会は中止できません。どうしても懸念される場合は、中止ではなく延期という形で再度の日程調整をお願いします。懇談会のみ実施ということでも、出来る限りは資料記載の日程でお願いしたいところではありますが、各ゾーン・チェアパーソンの判断にお任せします。合同例会の中止などといったことがございましたら、早めにキャビネット事務局までご連絡願います。

4. 周年行事予定について（7月15日現在） 資料17頁
前回から変更があったり、新たに入ったものについては赤色で記載しております。

5. 335-C 地区一般社団法人設立現況報告について
(野々山第2副地区ガバナーから報告)

前回の年次大会で社団法人化することは承認されました。定款案について、認証を受けるための協議を公証人と行っていました。国際協会との関係を含めたライオンズの組織を理解してもらうことに時間を要していました。また、定款の文言についても何点かの指摘があり、その折衝をしていましたが、ほぼ終了しており、認証を受ける段階に差し掛かっています。

(一盛地区ガバナーより)

まず、定款の認証、それが終われば登記、登記が終わりましたら各クラブへ社員申込書を送付させていただきます、そして、社員がそろえば設立という流れで進めていきたいと思っております。

6. 2023～2024年度

第2副地区ガバナー有資格者立候補有無について 資料18～19頁
添付した資料については、本日の会議終了後に各クラブに配信いたします。
各クラブ、ゾーンなどでご協議していただき、立候補の有無を届け出て下さい。立候補届ではなく、立候補の有無の届出となっているのは、現行の規定では、第2副地区ガバナーの資格として、クラブ会長を全うしたうえでゾーン・チェアパーソン以上の役職を半年以上行っていることが必要となっているからです。

これからお盆が明けますと次年度の組織作りが始まります。次年度の地区の各委員会の委員長につきましては、昨年度の11月に私の方から各ゾーン・チェアパーソンに対し、次年度の委員長になっていただける方を副委員長に推薦してほしいとお願いしております。ゾーン・チェアパーソンから伝えられていなかった副委員長の方もおられるかもしれませんが、このような経緯です。盆明け以降、山本第1副地区ガバナーから意思確認の電話があると思っております。そのうえで各クラブ会長にも、山本第1副地区ガバナーからお願いの電話があると思っております。次年度についてもご協力を頂きますよう、私の方からもお願い申し上げます。

山本第1副地区ガバナーについては、9月から来年ガバナーに就任するまでの長丁場の研修が始まります。シカゴでの研修もあるようです。皆様のご協力をお願いいたします。

7. 2021～2022年度 期首からの会員動静（6月末）について

資料20～23頁

前期は、期首3641人、期末3543人であり、98人減との結果でした。GMAのパイロット地区として頑張りましたが、残念ながら1クラブ、1支部の解散がありました。結果、今期は101クラブでのスタートとなります。

今期の目標は、各ゾーンで一つの支部の設立を行っていただきますよう、ゾーン・チェアパーソンの皆様のご協力をお願いします。それから、地区として、スペシャリティクラブの設立、入会者300人、退会者200人以下を目標としています。

335-C地区の各クラブが1名の純増をしていただけますと、地区全体で100名の純増となりますから、各クラブの皆様頑張らましょとゾーン・チェアパーソンからお伝えください。

今期は、昨日時点で、7月入会者が61人、退会者25人、純増36人となっておりますが、こういった形では最終的には純増ということにならないと思います。地区役員の皆様もひとりずつ新入会員を入会させていただければ、大変心強いところですので、ご協力をお願いしたい。

8. 2021～2022年度 LCIF 寄付報告書（6月末）について

資料24～29頁

前期の目標が55万ドルで、実績は83万ドルを超える寄付をいただきました。日本3位、世界6位でした。ありがとうございました。6月末時点では、今期の目標は60万ドルとされていましたが、55万ドルに落ちつきました。今期もご協力お願い申し上げます。

前期同様、ゾーンごとに正会員の人数割りで目標金額を設定させていただいております。来週の頭までには、各ゾーン・チェアパーソンにご連絡いたしますので、よろしくお願い申し上げます。ブライアン・シーハン国際会長からも、1人100ドル寄付の継続、MJFへの協力について強く依頼されております。特に、地区キャビネット構成員の皆様におかれては、MJF10以上のご協力をお願いします。

LCIFから、ウクライナ周辺のライオンズクラブへ22億円以上の金額が拠出されています。

9. 2022～2023年度 335 複合地区ガバナー協議会組織表

資料30～31頁

資料に基づき、335-C地区からの出向者について説明。

休 憩（コーヒータム）

9) 審議事項

第1号議案 第2回ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区ガバナー杯争奪学童野球大会
予算書の件 資料32頁
青少年健全育成費より拠出させていただきたい

（一盛地区ガバナー）

昨年度は地区シェアリング事業という形で予算を組みましたが、今年度は地区の青少年健全育成費から支出したいという議案です。

第1回大会については、行政からも京都府知事、京都市長、各議員が来られて、大変好評でした。なによりも参加した子どもたちにとって、わかきスタジアムで野球ができることが、高校球児にとっての甲子園球場のように大きな目標となり、練習に励み、感動を与える機会となっています。そのような中で、第2回大会として開催させていただきたいと考えております。

予算ですが、当初は京都、奈良、滋賀の16チームで行う予選会の予定でしたが、現在は18チームの申し込みがあります。「その他経費」の「交通費」ですが、プラスバンドに来ていただく高校が変わる関係で、予算が多少変わる可能性があります、基本的にはこの予算案でお諮りさせていただきます。

(質問、意見なし。)
賛成多数、承認。

1 0) リジョン別GMA会議担当表 資料33頁
(山本第1副地区ガバナー)

資料に基づき説明。

特にL秋山は、全ての会議に出席予定とのことで、ありがとうございます。

滋賀県は過去最大の新型コロナ感染者が出ているということで、6リジョンの会議が延期となりました。無理なくやっていただければと思います。

GMAにおいて、新クラブ、新支部(21支部)を作っていく、新入会員を300人入会してもらおうということを目標として、会議といたしますか、GMA研修セミナーを行っています。

1時間30分の研修セミナーとなっています。所属リジョンの方でなくても、近くの方は見学に来てくださって良いと思います。

酷暑ではありますが、各リーダーが頑張っていますので、よろしく願います。

(質問なし)

1 1) 地区委員長報告
(LCIF委員会委員長 L真田)

さきほど一盛地区ガバナーからもありましたとおり、本年度のLCIF目標は年間55万ドル、100ドル寄付の達成率100%でございますので、皆様のご協力をお願いします。

LCIFキャンペーン100BOXも活用してください。

8月30日にLCIFセミナーを開催します。LCIF西日本リーダーのL松岡が講師をされます。これまでとは違い、全会員が参加可能なセミナーとなっています。皆様のLCIFへのご理解とご協力をお願いします。

1 2) 閉会挨拶 第1副地区ガバナー 山本 忍

本日は、酷暑の中ご足労いただきありがとうございました。

GMAについては、コロナ禍ですので、あまり無理を無さならず、息の長い活動ですので、クラスターを発生させないよう健康第一をお願いいたします。

一盛地区ガバナーから丁寧なご説明をいただきました副委員長の件ですが、L松岡から始まったことであり、副委員長が次期の委員長へできるだけなってほしいということです。

第1回のキャビネット会議で、本年度が始まったばかりなのに次年度のことを言わなければならないのですが、さきほど一盛地区ガバナーから研修プログラムの概要を渡されました。

ざっと見たところ、まず、お前はどのような人間であるのかということで、心身の状態やリーダーシップについて私の診断をしていただけるとのことです。セントチャールズで研修をするようです。それまでに課題をやっておくようにとのことです。

また、次年度委員長もお盆過ぎから決めていかなければならない。お盆過ぎから、副委員長の方々にお電話を差し上げますので、よろしく願います。そして、クラブ会長にお願いの電話をすることになると思います。

年次大会での選挙・信任を経ていない段階の私がこのようなことを申し上げるのは早すぎると思われるかもしれませんが、副委員長の皆様、よろしく願い申し上げます。また、委員長の皆様におかれましても、副委員長の皆様とともに、今年度の委員会を盛り上げてください。

本日は、ご出席ありがとうございました。

1 3) 閉会ゴング

地区ガバナー 一盛 広樹

次年度の話もありましたが、これから各委員会の事業など、本格的に本年度が始まります。ガバナー諮問委員会も始まります。私の立場からは、まずは本年度をしっかりお願いします。

そして、次年度も応援していきたいと思います。

皆様、大変お疲れさまでございました。

以上

地区ガバナー

議長署名 一 盛 元 樹

2 R 3 Zゾーン・チェアパーソン

議事録署名人 金田孝子

7 R 2 Zゾーン・チェアパーソン

議事録署名人 今中力松